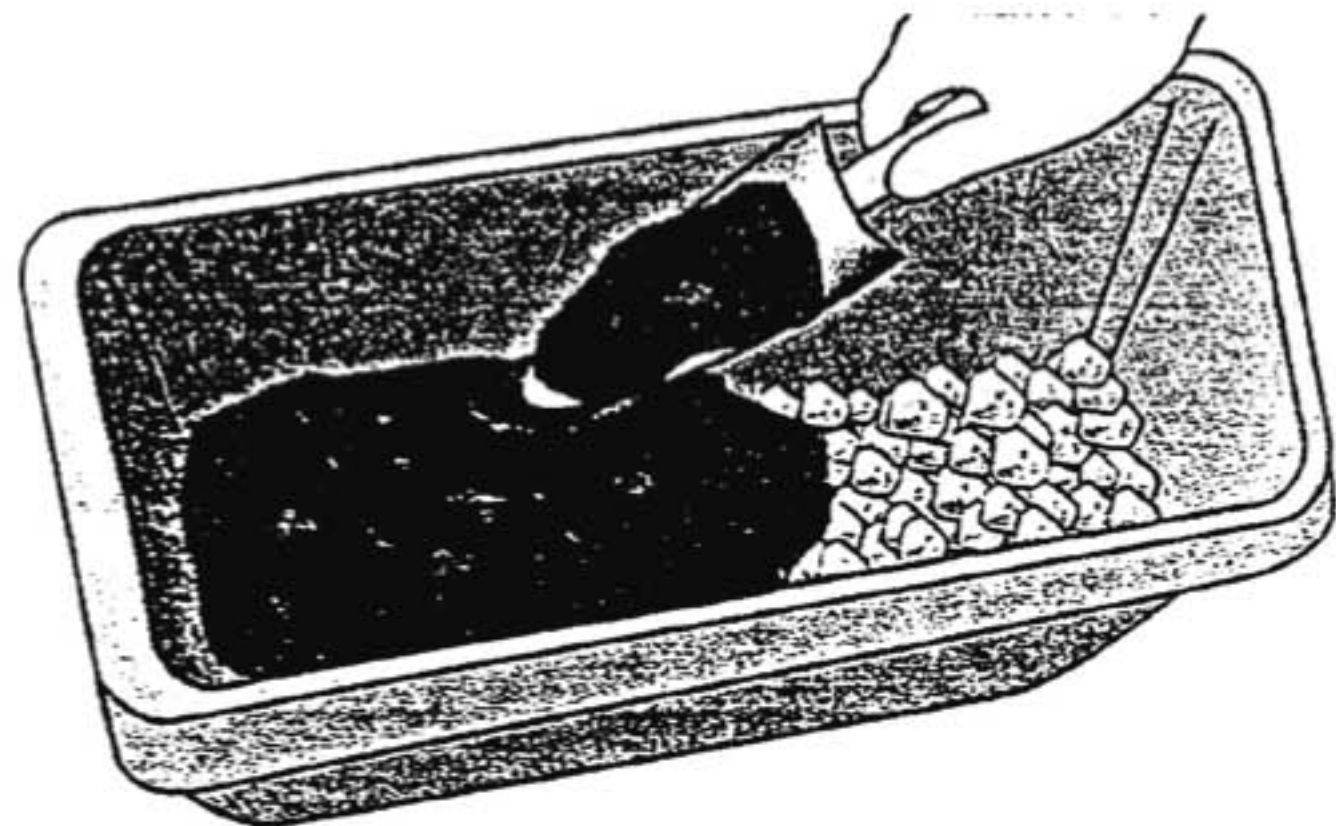


# イチゴ(プランター栽培)の作り方

JA愛知  
グリーンセンター  
協議会

## 植えつけ準備



プランターの底が見えなくなる程度に鉢底石(軽石)を入れ、その上に**JA野菜の土**を入れます。培養土の量は、水やりの際に水があふれないように、プランターの縁から2cm程度下までが目安です。

### ミラクルバイオ肥料

#### 菜園ニーム粉末タイプ

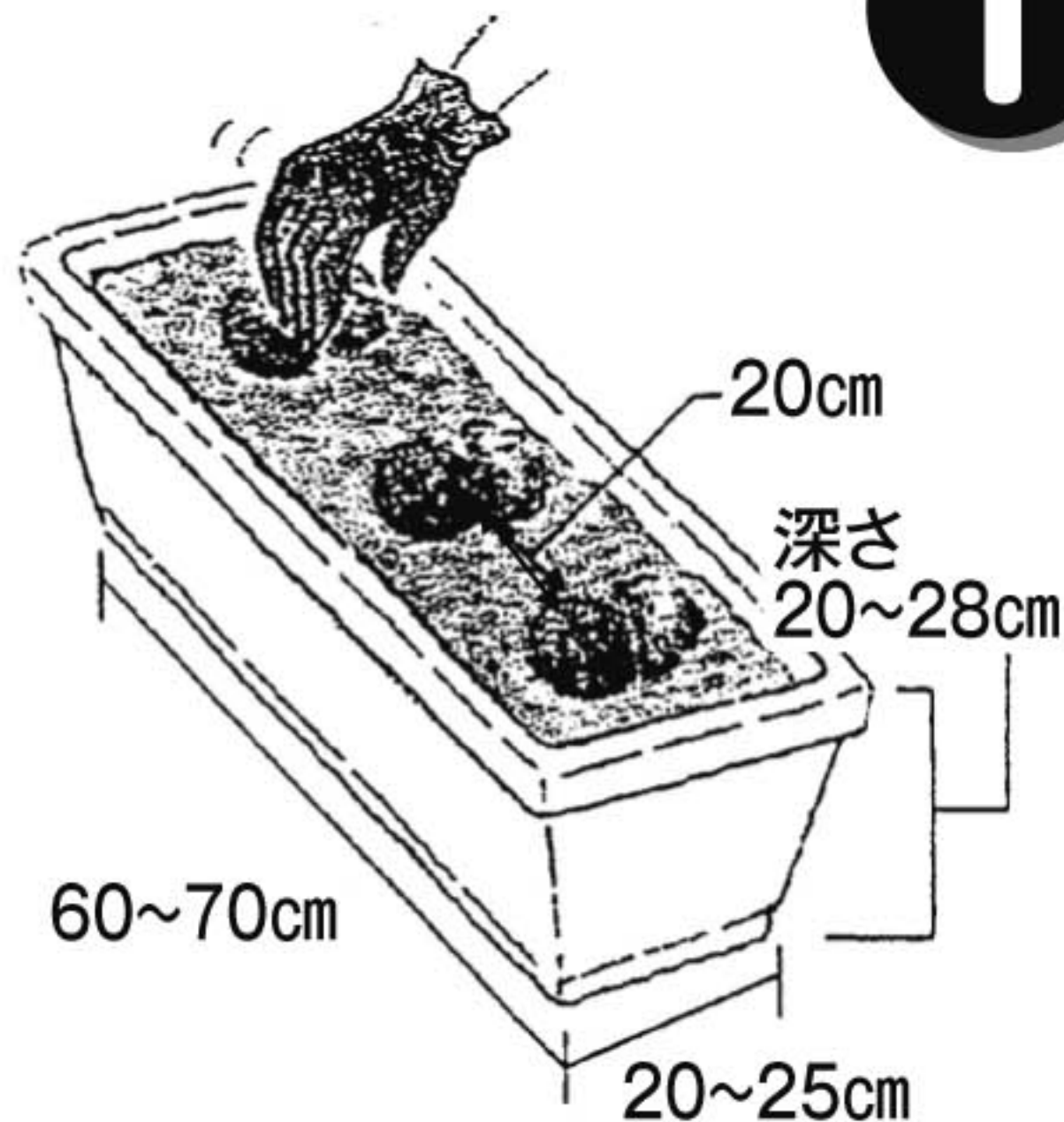
ミラクルバイオ肥料とニーム粉末を植物のまわりに囲むように敷きつめます。



## 種まき・育苗

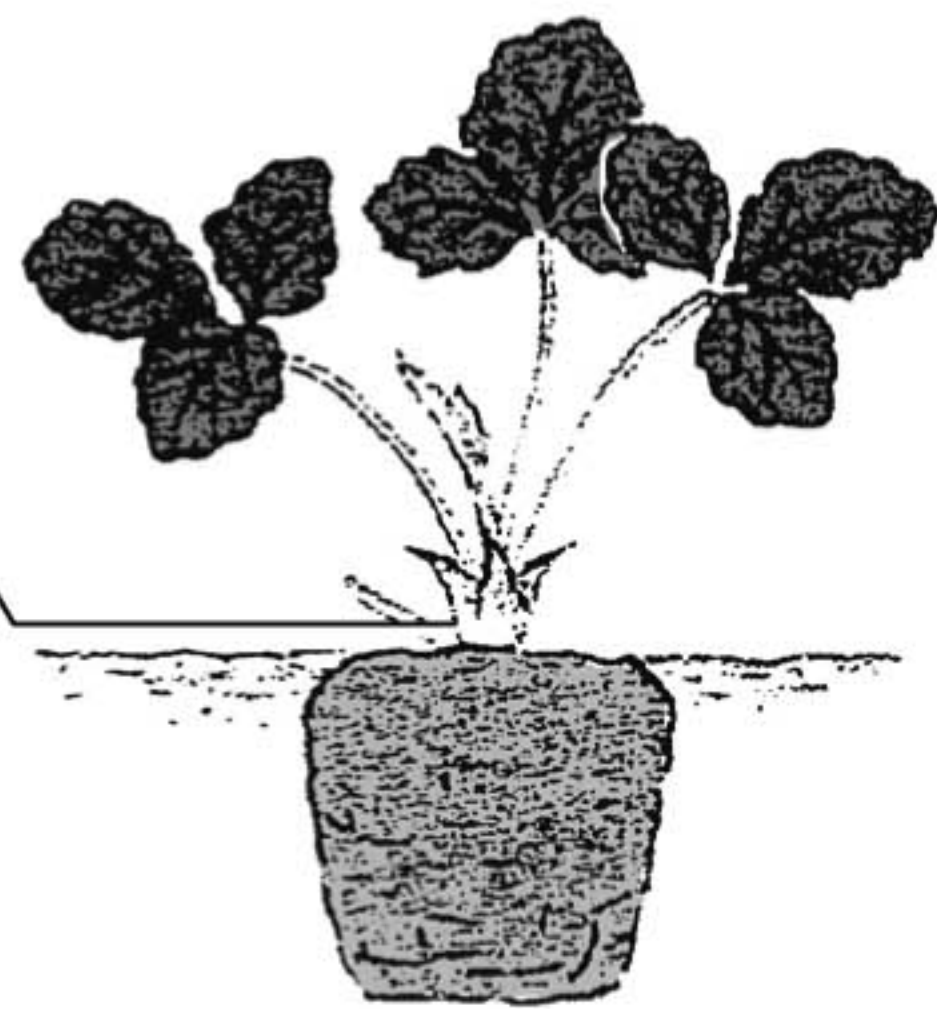
ポイント  
**1**

1株当たりの培養土の量が少なくなると収穫量が少なく、実が小さくなります。65cmプランターでは、3株が目安となります。



### おすすめプランター 65cmプランター深型

※2 クラウンが隠れないよう浅植えにします



ポイント  
**3**

クラウンが隠れないように浅く植えます。クラウンまで埋め込んでしまうと新葉がでにくくなり、生育不良の原因となります。

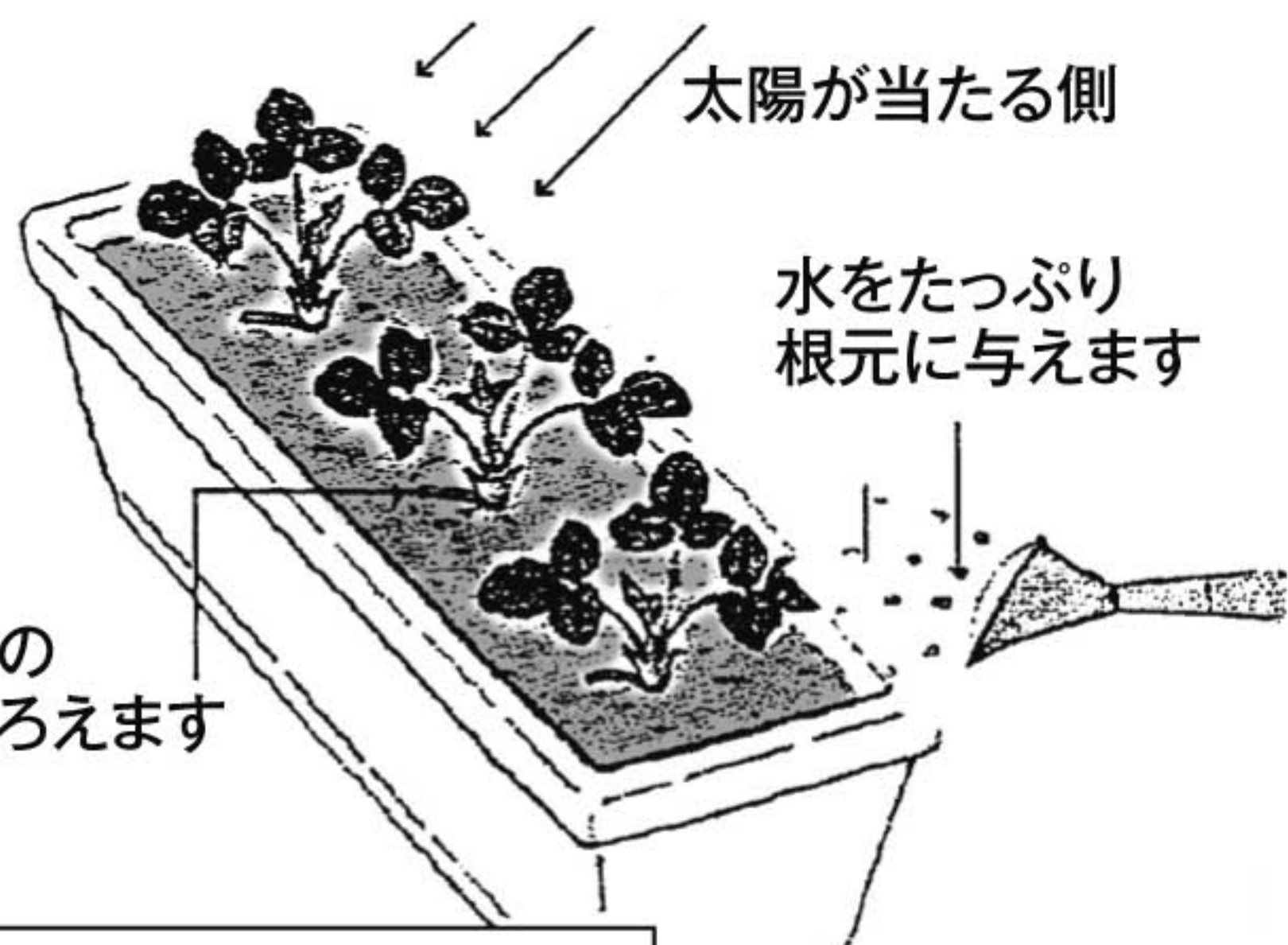
ポイント  
**4**

秋には、新しい葉とともにわき芽や蕾が出ます。1芽で太い株に育てるため、これらを摘み取って下さい。

ポイント  
**2**

ランナーの反対側に花房ができ、果実が成ります。ランナーの向きをそろえて植えます。

※1 ランナー 親株から伸びてきた走りづる  
※2 クラウン 葉の付け根の冠状の部分、茎



※1 ランナーの向きをそろえます

太陽が当たる側  
水をたっぷり根元に与えます

## マルチング



寒さが厳しくなると、イチゴの葉が紅葉し、地面に張りつきます。このような状態になったら霜対策と乾燥防止のため、ワラやフィルムなどで株元を覆います(マルチング)。また、雨や水やりの時に泥がはねると病気に感染しやすくなりますが、泥はねを予防する効果もあります。

### 菜園ニームスプレー

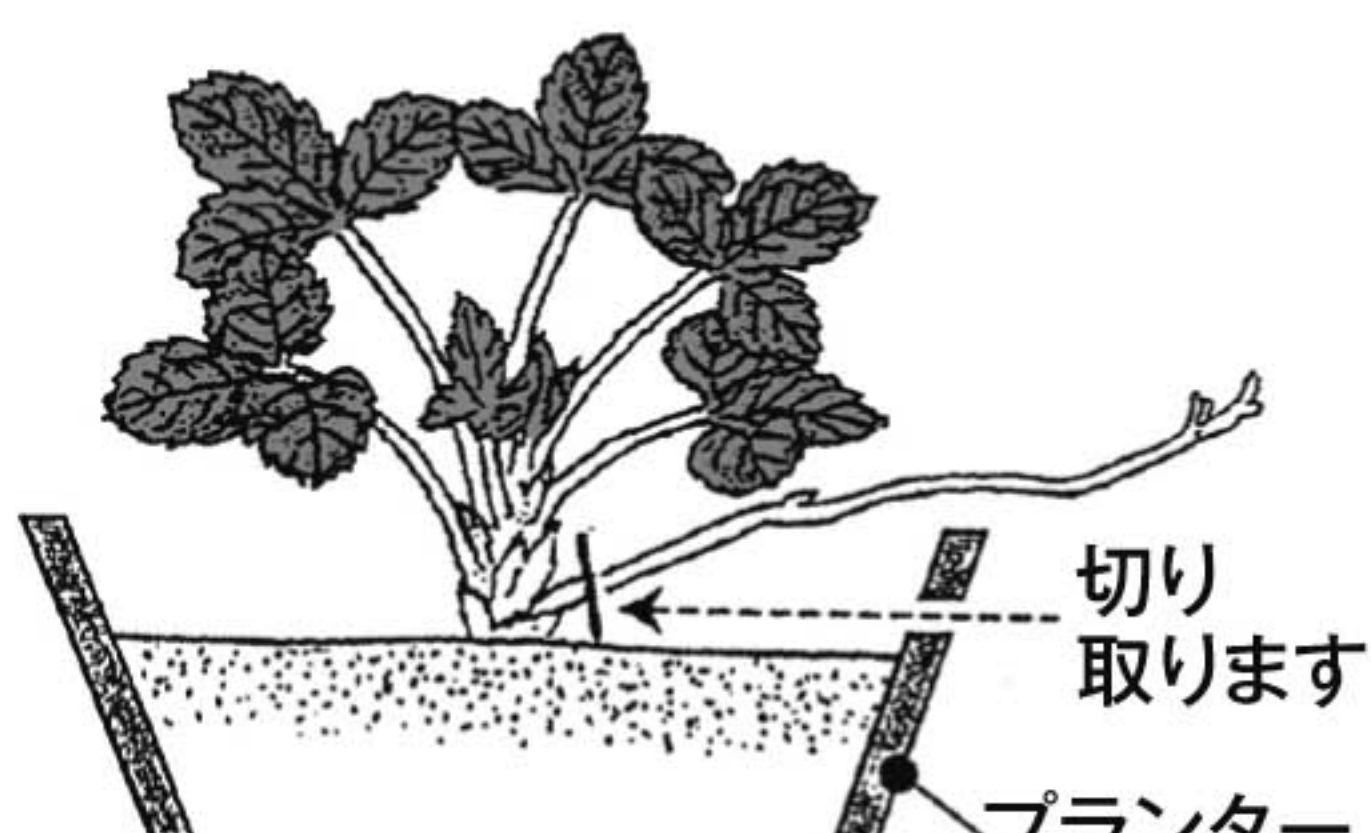


こまめに植物に直接スプレーします。

## 葉かき



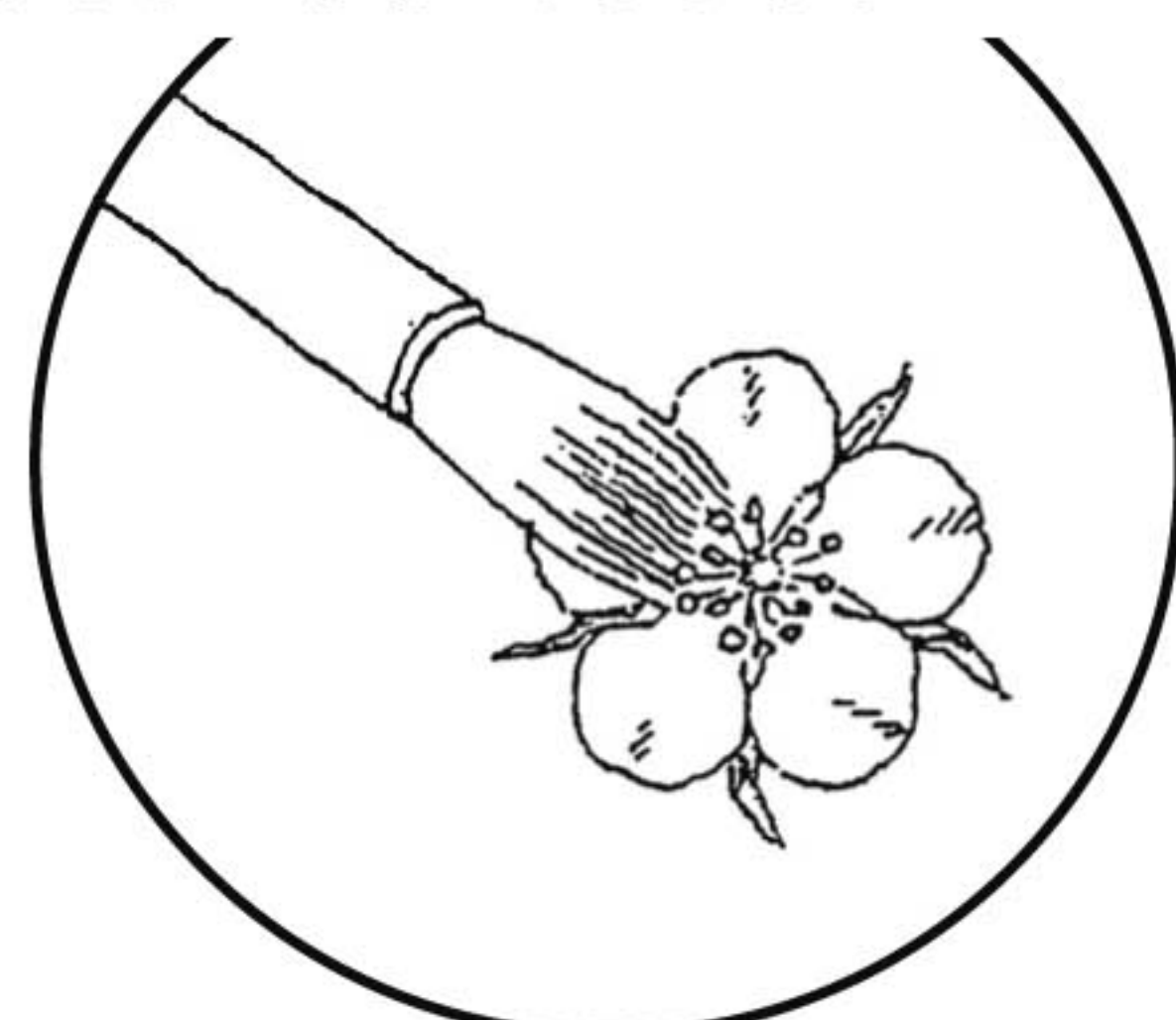
越冬後、盛んに生育しはじめたころ、下葉をかき取ります。



春になり、ランナーが伸び出してきたら切除します。

## 花粉つけ

花が早く咲いて訪花昆虫がいなときは、筆の穂先でなぞり雌しべに花粉をつけてやると形のよい実になります。



## 菜園カレンダー

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
イチゴ(プランター栽培)	●	●	△		△				■

●植えつけ △追肥 ■収穫

施肥基準 (25ℓ)	元肥 (g)	追肥 (g)
JAこだわり肥料(イチゴ)	0	1回目 20 2回目 20

※JA野菜の土以外の元肥入りでない培養土を使用する場合には、植えつけ前に**JAこだわり肥料(イチゴ)** 30g程度を培養土に均一に混ぜ込みます。

## 管理

### 水やり

・イチゴは大変水を好みますが、やりすぎは根ぐされの原因となります。乾燥させてしまうと根痛みをおこして成長しません。乾いてきたらたっぷり葉にかからないよう根元に与えます。

### 肥料

・肥料のやりすぎは肝心の実の太り方が悪くなります。植えつけ3週間後と2月の下旬に1回ずつ**JAこだわり肥料(イチゴ)**を根元にひとつかみ(約20g)を与えます。実が成りだしてからは生育に合わせて適度に与えますが、やりすぎに注意。

## ハーベリーポットを使ってイチゴタワーに挑戦してみませんか?



① 重ねた時ポケットになる部分3ヶ所に苗を植えます。

② 2段目を載せて1段目と同様に苗を植えます。



③ 3段目を重ねて同様に植えて完成させます。

完成!

